

〔序説〕

近世の旅と宝来講

伊勢への道中を紹介する前に、まず「序説」として、近世の旅と、それを追体験してみようとする「宝来講」というものについて、簡単に述べておこう。

この宝来講という旅を考える場合、いくつかの切り口がある。近世の旅の中ではもっともポピュラーだった伊勢参りの追体験という側面。歴史研究としての調査や、データの収集。「歩く旅」というスポーツ性。もちろん、ごく普通の「旅」という面も持っているわけである。参加者それぞれの視点によって、さまざまな感じ方、楽しみ方があるだろう。ここでは、宝来講の持ついくつかの面について、過去の参加者の経験などをもとに話を進めていくほか、近世の旅や伊勢を目指す街道についても述べる。